

中央市ふるさとまつりの伝統行事

みょうあんじ

こむそろう

明暗寺の虚無僧行列

江戸時代の中央市(乙黒村)には、明暗寺というお寺がありました。建物は、約150年前の明治時代初めに取壊され、現在は「史蹟 甲州乙黒明暗寺跡」の石碑があるのみですが、ここは甲斐国唯一の虚無僧寺でした。

ふかあみがさ

けさ

たくはう

虚無僧は、筒形の深編笠をかぶり、袈裟をかけ、托鉢しながら尺八を吹き、修行をしていました。明暗寺の虚

とめぼりよう

無僧が、甲斐国の村々を托鉢や留場料(お布施)を受け取りに訪れていたことが、古文書により伝わります。

ふるさとまつりでは、この風景を再現します。一緒に

歩いて虚無僧の気分を味わってみませんか。



令和8年11月3日(火・文化の日)

行列コース

明暗寺跡地(乙黒669-1)～
玉穂ふるさとふれあい広場

開催日時

令和8年11月3日(火)
午前11時～午後1時

募集内容

①一緒に歩こう(5人以内)

のぼり旗を持って行列に加わります。
集合 午前10時50分 明暗寺跡地
解散 午後0時 まつり会場

②虚無僧になろう(5人以内)

虚無僧の衣装を着て行列に加わります。
集合 午前10時 永源寺(下河東880)
解散 午後1時 永源寺

募集期間

令和8年10月5日(月)～10月23日(金)
の平日午前8時30分～午後5時15分

申込み・問合せ

中央市教育委員会 生涯教育課

☎055(274)8522

